

伊方町保育業務支援システム導入業務 機能要件

※以下の機能実装にあたって追加費用を要する場合は、当該費用を見積もりに含めること。

区分	No.	機能要件	対応可否	備考
① 園児情報管理	1	園児基本台帳・登降園管理・健康管理・発達状況・保育日誌等の記録ができること。		
	2	退所・卒園後を含む過去の情報の閲覧・修正ができること。		
	3	園児基本情報登録・更新ができること。また、園児基本情報はCSVまたはExcelデータから一括取込が可能であること。		
	4	次年度への更新処理ができること。また、年度更新処理は事前予約が可能で、自動的に年度が切り替わるようにできること。		
	5	年度途中のクラス替え、入・退所処理が可能であること。		
	6	過去の出席簿等帳票類は、過去の情報に基づき出力が可能であること。		
	7	園児の登降園時刻を含めた出欠席状況がリアルタイムで確認できること。		
	8	カレンダーによる午前保育や休日開園等の設定が可能であること。		
職員情報管理	9	職員アカウントの登録は、CSVにより一括で実施できること。		
	10	職員ごとにログインID及びパスワードを設定できること。		
	11	職員ごとに担当クラスを設定することができ、各機能利用時に担当クラスの園児が標準で初期表示されること。		
	12	職員アカウント単位で、機能別に「承認権限」「ダウンロード権限」「更新権限」「閲覧権限」「利用不可」の権限設定ができること。		
	13	職員の権限設定は、特定の権限を持つアカウントからのみ行えること。		
	14	職員は自身のアカウントのパスワードを変更できること。また、特定の権限のある職員は、他の職員のパスワードを初期化できること。		
	15	各職員ごとに有効期限を設定でき、有効期限が切れた職員はログインすることができなくなること。		
② 出 席 簿	16	職員の出退勤状況の記録及び実績集計が可能であること。		
	17	保護者からの申請や職員が記録したデータと連携した出席簿の作成が可能であること。		
	18	クラス毎に園児の出欠状況を記録し、出席簿の印刷が可能であること。		
	19	出席簿は日毎の出欠人数や、園児毎の月間出欠席数の自動計算が可能であること。		
	20	出席簿の欠席理由は「出席」「遅刻」「早退」「病欠」「都合欠」等複数から記録できること。また、出欠理由の登録に合わせて、理由の自由記述が可能であること。		
	21	出欠日数の自動計算が可能であること。		
③ 登 降 園 管 理	22	本町が指定する様式での出席簿出力が可能であること。		
	23	登降園の打刻処理は、保護者による二次元コードを用いた打刻が可能であること。		
	24	登降園の打刻処理は、保護者によるタッチパネル式の手動打刻も可能であること。		
	25	登降園の打刻処理は、職員による打刻・修正等が可能であること。		
	26	欠席や預かり保育申請の電話受付の記録が可能であること。		
	27	登降園時間の記録と連動し、園児の登降園状況、時間帯別の延長・一時預かり利用人数及び利用園児名の集計・表示が可能であること。		
	28	当日及び過去日付の登降園時刻や欠席理由等の修正が可能であること。		
	29	保護者からの連絡内容を一覧表示することが可能であること。		
	30	保護者からの連絡内容をチェックボックス等にて承認が可能であること。		
	31	お迎え予定時刻別に園児管理が可能であり、予定時間順に園児の並び替えができること。		
	32	欠席登録による欠席者一覧を作成・表示することによって、流行病の把握が可能であること。また、感染症ごとに施設内での感染者数がまとまって表示される機能を有すること。		
	33	園児認定区分の表示や管理が可能であること。		
	34	園全体・クラス毎・認定区分毎等の園児情報一覧が作成可能であること。		
	35	災害対応として、現在教育・保育中の園児一覧が作成可能であること。		
	36	アレルギーを有する園児の出欠状況が一覧表示できること。また、園児毎のアレルギーの種別が容易に確認できること。		
	37	土曜日の欠席登録が一括で可能であること。		
	38	出欠情報に基づき、クラス毎の給食・おやつ喫食数管理が可能であること。		

④ 延長保育実績集計等	39	延長保育料・一時預かり保育料・給食費等の自動計算が可能であること。		
	40	一時預かり保育実施記録の出力が可能であること。		
	41	園児毎に保育料の条件設定が可能であること。		
	42	本町から提示される費用免除の園児情報を利用した延長料金・給食費等を自動計算し出力できること。		
⑤ 午睡管理	43	対象園児の午睡中の様子（体の向き等）とその確認者、時間を記録でき、記録情報は午睡のチェック表として出力できること。		
	44	一度登録した体の向きや午睡チェック担当者は、前回の履歴の引継ぎが可能であること。		
	45	入眠時間と起床時間の記録が可能であること。		
	46	起床への切り替えが可能であること。		
	47	当日の履歴をスクロール操作等で確認できること。		
	48	午睡チェック感覚は年齢に応じ、最短5分間隔での記録が可能であること。		
⑥ 保育の記録	49	体温・排便等の懸鼓観察記録は、記入時刻が自動的に記録される等効率的な入力が可能であること。		
	50	記録画面では、欠席している園児を自動的に非表示とできること。また、表示順を変更するなど、記録をしやすい配慮がなされていること。		
	51	ミルクの量や給食摂取量の記録が可能であること。		
	52	与薬の有無・実施時刻等の記録が可能であること。		
	53	クラス毎に、登降園時間順に園児名簿を並び替えて記録・確認することが可能であること。		
	54	職員間の伝達更新時、リアルタイムにタブレット又はスマートフォンに通知され、共有できること。		
	55	全体連絡を配信できること。		
⑦ 指導計画・日誌・要録等	56	クラス日誌を作成し、管理者による確認が可能であること。		
	57	年間・月間・週間指導計画の作成・出力が可能であること。		
	58	指導計画の各項目毎に、過去の入力分を参照し引用が可能であること。		
	59	各項目について文章雛形が表示され、参照・引用ができること。		
	60	文章雛形は、各園毎に任意で独自の文章を追加できること。また、追加した雛形は園内で共有できること。		
	61	年間指導計画の各期のねらいから、月間指導計画の目標に引用可能であること。		
	62	保育日誌の作成・印刷が可能であること。		
	63	園児情報や登降園時間・欠席理由を日誌に自動反映できること。		
⑧ 保護者連絡機能	64	要録の作成・印刷が可能であること。		
	65	出欠日数は、出席簿と連動して自動計算が可能であること。		
	66	保護者が専用のスマホアプリ等を通じ、欠席・遅刻・お迎え時間変更等の連絡を行うことが可能であること。		
	67	保護者のスマホアプリ等と緑の端末で、双方から連絡帳の提出・閲覧が可能であること。		
	68	保護者の利用者登録は、専用のID・パスワードを配布して行うようにより、保護者が自らの世帯に限り排他的な利用が可能であること。		
	69	保護者のパスワードは、当該保護者が自ら変更できること。		
	70	園からのお知らせを保護者にプッシュ通知で配信可能であること。		
	71	お知らせ本文は、文字サイズの変更・文字色の変更・太字・下線等の装飾、及び表の挿入に対応し、保護者の視認性を高める工夫があること。		
	72	定型的な配信内容をテンプレート文として登録ができ、配信時に一覧から選択することで文章が自動転記されること。また、過去のお知らせ内容を複製し、下書きとして書き始められること。		
	73	園からの配信内容の閲覧有無を確認できる未読・既読確認機能があること。		
⑨ シフト管理	74	園からの連絡作成時には、既にシステムに登録している検温・健康観察・睡眠時間等の引用が可能であること。		
	75	クラス毎・設定したグループ毎・個人毎等、任意の範囲へのお知らせ配信ができること。		
	76	お知らせに写真・PDFの添付が可能であること。		
	77	職員毎の月次シフトを作成し、出勤簿の印刷ができること。		
	78	園毎の勤務シフトの実情（有給休暇、代休等）に合わせて、各園独自の運用・実情に合わせてオリジナルなシフト作成ができること。		